

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質担当

昭和55年7月21日

第15報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Aphanothece clathrata*</i>	340	○	
(藍) <i>Phormidium</i> sp.*	60		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	120		
(珪) <i>Melosira italica</i>	80		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	60		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	20		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	640	◎	○
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	20		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	40		◎
(藍) 藍藻綱	400	29.0	7.2
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	260	18.8	10.7
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	20	1.4	1.3
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	700	50.7	80.8
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	1380	総体積	2.60E+06
種 類 数	9	(μm^3)	

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種

数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から

試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第 1 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	640

第 2 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
藍藻綱	<i>Aphanothece clathrata*</i>	340

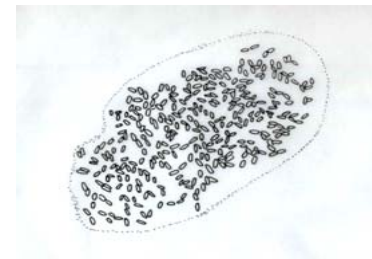
植物プランクトン第1優占種



Pediastrum biwae
(ピワクンショウモ)
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ピワクンショウモと呼ばれている。

植物プランクトン第2優占種



Aphanothece clathrata*
(アファノテーケ)
藍藻綱

細胞は、長楕円形で長さ3.5~4.5 μm 、幅0.6~0.2 μm 。非常に多数の細胞が寒天質の中に集まり、群体を作る。群体はいろいろな形がある。琵琶湖では北湖で夏秋に多く見られる。